

Canada Agri-tech Mission 2017 Sapporo カナダアグリテックミッション 2017 札幌

カナダ政府札幌通商事務所

日 時: 平成 29 年 5 月 22 日(月曜日)午前 10 時～午後 3 時半頃まで
場 所: モントレーデルホフ札幌 13 階「ドノウ」
主 催: 在日カナダ大使館・カナダ政府札幌通商事務所
協 力: 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
目 的: カナダの先端農業、バイオテクノロジー分野、次世代グリーンハウス技術のカナダ企業群 / 技術紹介および情報交換のためのミッション。各社から技術・業容説明が行われます。

アジェンダ:

10:00 開会(Sapporo Trade Office)
10:05 アルバータ政府あいさつ (Ms. MaryBeth Takao)
10:15 プリティッシュ・コロンビア州政府あいさつ (Ms. Kelly Best)
10:25 ノーステック財団北野博士からご紹介
11:05 休憩
11:20 カナダ団代表より説明(Mr. Joseph Regan)
12:00 昼食(ホテルよりお弁当、お水が提供されます)
13:00 参加企業プレゼンテーション(各社 10 分程度)
-AgSpectra 社、BW Global 社、Terramera Inc.社
14:00 コーヒーブレイク
14:15 カナダ側参加団体と日本側参加者懇談
15:30 終了

参加企業:札幌参加は以下の 6 団体となっております。

BW GLOBAL 社 (札幌参加)

<http://bw-global.com/>

ポリエチレン・ポリカーボネート製の高さのあるグリーンハウスにより従来型温室に比較し 10 倍～16 倍の農作物収穫を可能にする温室システムの開発。

AgSpectra 社 (親会社 Starfield Centre 社) (札幌参加)

<http://www.starfieldcentre.com/>

再生可能エネルギーの組み合わせにより、太陽光、風力、バイオマス、地熱により温室内の気温を確保または冷房に使用する次世代のグリーンハウスシステム。

Terramera Inc.社(札幌参加)

<http://terramera.com/>

農作物保護と順調な生育のための既存の化学農薬に代わる高効率の植物由来の革新的殺虫技術。

EDC(カナダ輸出振興公社):Mr. Joseph Regan (前 BioEnterprises 社)
カナダ企業の輸出をサポート。

アルバータ州政府在日事務所:Ms. Mary Beth Takao(農業担当)

ブリティッシュコロンビア州担当官:Ms. Kelly Best(カナダ現地から)

(東京参加のみの企業)

Vive Crop Protection 社(オンタリオ州)

<http://vivecrop.com/>

Vive 社特許によるポリマーベースによる水分分散型の作物保護剤活性化技術の研究開発。

Plantform Corporation 社

www.plantformcorp.com

2008年に設立された株式非公開企業。タバコ属の植物を用いたバイオロジクスの生産技術 *vivoXPRESS* を開発。本技術は特定の抗価値タンパク医薬を低コストで生産することが可能で、当社のバイオシラ のパイプラインにはハーセプチン(Herceptin) 及びルセンティス (Lucentis)がある。さらに、感染症やバイオテロリズムの領域での新薬開発も行っている。Bill & Melinda Gates Foundation をはじめ、多くの NPO や政府機関からのファンドを受け植物を利用の低コスト、高効率バイオロジクスの生産技術を開発。

Sinoveda Canada Inc.社

www.sinoveda.com

当該社開発の SCI-RC-1341 のご紹介

ムラサキツメクサ (Red Clover) 由来のイソフラボンを成分とする。

対象:閉経後の症状に対応。 規制対応の戦略としては Botanical drug のルートで Rx として承認をめざす。IND 承認をうけてフェーズ2に進む予定。

TechMist™社

<http://www.techmist.com/>

SPARC™, FLUX™ および STREAM™ という高効率の殺菌システムにより松類につく樹皮下甲虫などを除去、西ナイル熱、H5N5 ウィルスの管理、病原体防御技術を提供する。ライブモニタリングとアプリケーション技術で消毒界をリードする技術企業。

AbCelex Technologies Inc.社

<http://abcelex.com/>

食用家畜の収量増加および食品安全を確保するための改善技術を商用化。家畜へのバクテリアの感染を管理するための目的別プロテイン配合添加物を使用する。